

大阪公立大学 テニュアトラック助教の公募
テニュア資格審査における基準(ガイドライン)

[現代システム科学研究院/現代システム科学研究科環境共生科学分野(自然地理学)]

2026年6月
人事委員会

- (1) テニュアトラック助教として採用後5年間の研究活動において、筆頭著者としての学術論文がおおむね5編以上あること。ただし、責任著者としての論文についても、筆頭著者論文に含めることができるものとする。
- (2) テニュアトラック助教として採用後5年間の研究活動において、研究代表者として獲得した競争的外部資金の総額が、おおむね300万円以上であること。
- (3) テニュアトラック助教として教育および地域社会への活動において十分に貢献し、かつ、高い科学者倫理を涵養していること。
- (4) テニュアトラック期間内に法人が指定する研修を受講していること。
- (5) 採用後に作成するテニュアトラック期間中の研究計画が、当初の計画どおり適切に進捗していること。
- (6) 研究活動を、自らの専門領域や隣接領域だけではなく、社会科学系など他の専門領域でも展開するように積極的に進めていること。
- (7) 論文以外の研究成果(社会実装やプロジェクト、政策提言やプロポーザルなど)に対しても意欲的に取り組んでいること。